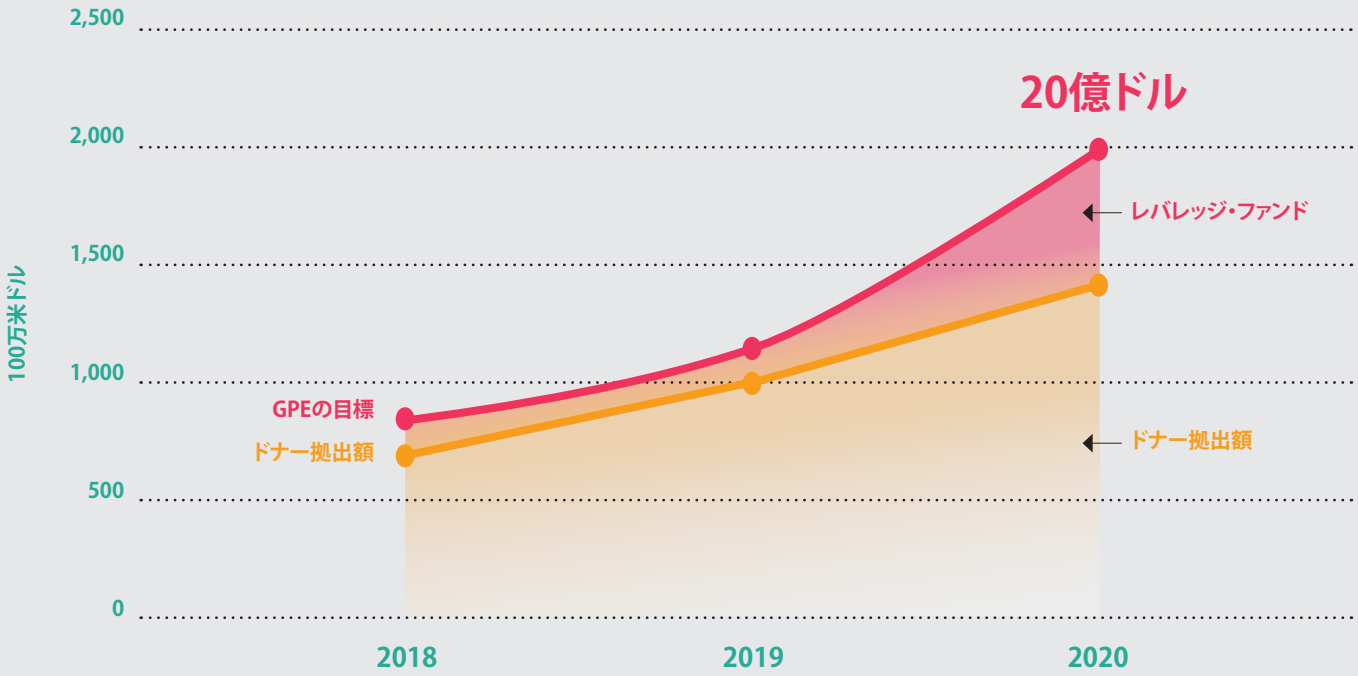
未来を作る教育への投資

教育のためのグローバルパートナーシップ（GPE）の概要

GLOBAL PARTNERSHIP *for* EDUCATION

REPLENISHMENT 2020

GPE増資計画の目標（2018～2020年）



	2018 US$	2019 US$	2020 US$	3年間合計（米ドル）
GPEへの拠出額（レバレッジ・ファンドへの拠出を含む）	7億（5000万）	10億（5000万）	14億（2億）	31億（3億）
協調融資による追加額	1億5000万	1億5000万	6億	9億
GPEの目標額	8億5000万	11億5000万	20億	40億

教育に対する投資の機会

世界中の全ての子どもの教育の必要性は、世界各地の市民や指導者がかつてないほど大きな声で訴えています。未就学の子どもの数は推定計2億6300万人に達するうえ、登校しても学習できない子どもが多数いるという厳しい状況に危機感を抱いているのです。女子教育に対する投資の見返りが広く認められているものの、女子が就学する可能性は非常に低く、さらに、何億人もの子どもたちが貧困から抜け出そうしていても、彼らには現在の労働力に求められる学力がありません。彼らの経済の繁栄に貢献する潜在的な可能性が失われているのです。

「教育のためのグローバル・パートナーシップ（GPE）」への拠出は、途上国の子どもだけでなく、世界の安全保障と繁栄に対する新たなコミットメントを示す機会となります。

国内資金の確保

教育資金は各国政府の予算が基礎となっています。しかし、低所得国では教育サービスを普及させるために国際支援が必要です。多くの低位中所得国では、国際支援が改善をもたらす触媒となりす。

GPEは、財政的に持続可能な教育計画を策定し、国家予算における教育費の割合を高め、教育支出の質を向上するために、途上国と協力しています。

教育資金の効果と効率を改善することは、財務省や外部支援国・機関の信用を高め、教育への投資の増加につながります。



© Educate a Child

チャド
押し寄せる難民と国内の子どもの教育を支援

チャドは、紛争が続く隣国に囲まれ、最近、サヘル地域を襲った飢餓や金融危機の影響がいまだに大きい状況です。その結果、世界でも有数の最貧国であるこの国に、2017年初期の時点で40万人もの難民が押し寄せました。脆弱・紛争国への教育支援が贈与の半額を超えるGPEでは、多くの難民が到来する前から支援が必要な状態だった学校システムの向上に取り組むチャドを支援してきました。難民の避難が集中しているチャド湖一帯だけでも、62%の子どもたちが学校に通っておらず、小学校の1クラスの平均生徒数は75人、成人の非識字率は96%にも上ります。

GPEの支援を得て、チャドは、難民に対する人道支援という喫緊のニーズに取り組むだけでなく、難民と同国の子どもたちに恩恵をもたらす強固で恒久的な教育インフラの構築に力を注いでいます。この支援には、86の教室・必要施設の建設、食糧・栄養面の支援、文化的に適切な教科書6万冊の配布、子どもたちが学校で実際に学べるよう資格のある教員の増強に向けた研修などが含まれます。GPEの贈与により、チャド湖一帯の子どもたち8500人が恩恵を受けています。

GPEの2020年までの増資計画



GPE増資は、教育資金の調達で新たな時代を切りひらきます。

GPEの目標は、「グローバルな教育機会の資金調達に関する国際委員会」の勧告に基づき、**2020年までに年間20億ドル**を調達することです。この目標を達成するため、GPEは、**2018～2020年の3年間の増資期間中、合計31億ドル**の貢献をドナー国から必要としています。加えて、GPEの新しいレバレッジ・ファンドを通じて9億ドルを調達する予定です。

この多額の資金を調達するためには、世界の主要ドナー国による力強いリーダーシップと新参加国による拠出が重要です。また、フィランソロピー団体をはじめとする他機関の拠出も明白な役割を担っています。GPEの中心的業務の実施を可能にする資金プールへの拠出に加え、今ではテーマ別・地域別優先課題に重点を置く投資や、知識やイノベーションに投資する機会も設けられています。

2018～2020年増資によってGPEは以下の活動に取り組みます。

- **8億7000万人の児童・青少年に対する教育の質およびアクセス向上**を図るため89の途上国を支援
- 未就学の子どもの**64%**を占める67の途上国に対して教育計画の実施のための贈与を提供
- 未就学の子どもの**40%**を占める30の途上国に対して、新規教育計画の策定を支援
- まず10カ国を対象に（その後全89カ国に拡大）、**追加資金誘引のための教育セクター支援の根拠を策定し**、それを各々の教育計画と整合
- それまでに達成した成功を礎に国内**資金の動員を拡大**
- 学習評価を支援して教育の質を向上
- 教育管理システムの強化を通じてデータの質を向上

GPEが期待する成果

- **新たに1900万人の子どもが小学校を修了**（うち940万人は女子、1080万人は脆弱・紛争国の子どもたち）
- **新たに660万人の子どもが中学校を修了**（うち390万人は女子、390万人は脆弱・紛争国の子どもたち）
- **研修を受けた教員数**：170万人
- **新設された教室の数**：23,800室
- **配布された教科書の数**：2億400万冊

これらの成果の達成に向け参加国全体に求められる課題

- ドナー国：2018～2020年にかけ合計31億ドルをGPEに拠出
- 途上国政府：政府支出に占める教育予算の割合を20%に引き上げ
- フィランソロピー財団・民間セクターのドナー：特定課題に重点的に取り組む拠出の増額

GPEの支援と資金調達の枠組み

教育計画の策定および実施の支援というGPEの主要業務である贈与に加え、GPEの新規の支援・資金調達枠組みには、以下の3つの特徴が加えられています。

- レバレッジ・ファンド：GPEが提供した支援1ドルにつき少なくとも3ドルの資金を協調融資により外部から調達できる政府に対し贈与を追加
- これまで教育セクターでは支援されていなかったイノベーションのためのツールや知識共有など重要な公共財への投資
- アドボカシーや社会的説明責任に特化した新規ファンドを通じた、教育に対する政治的コミットメントの促進

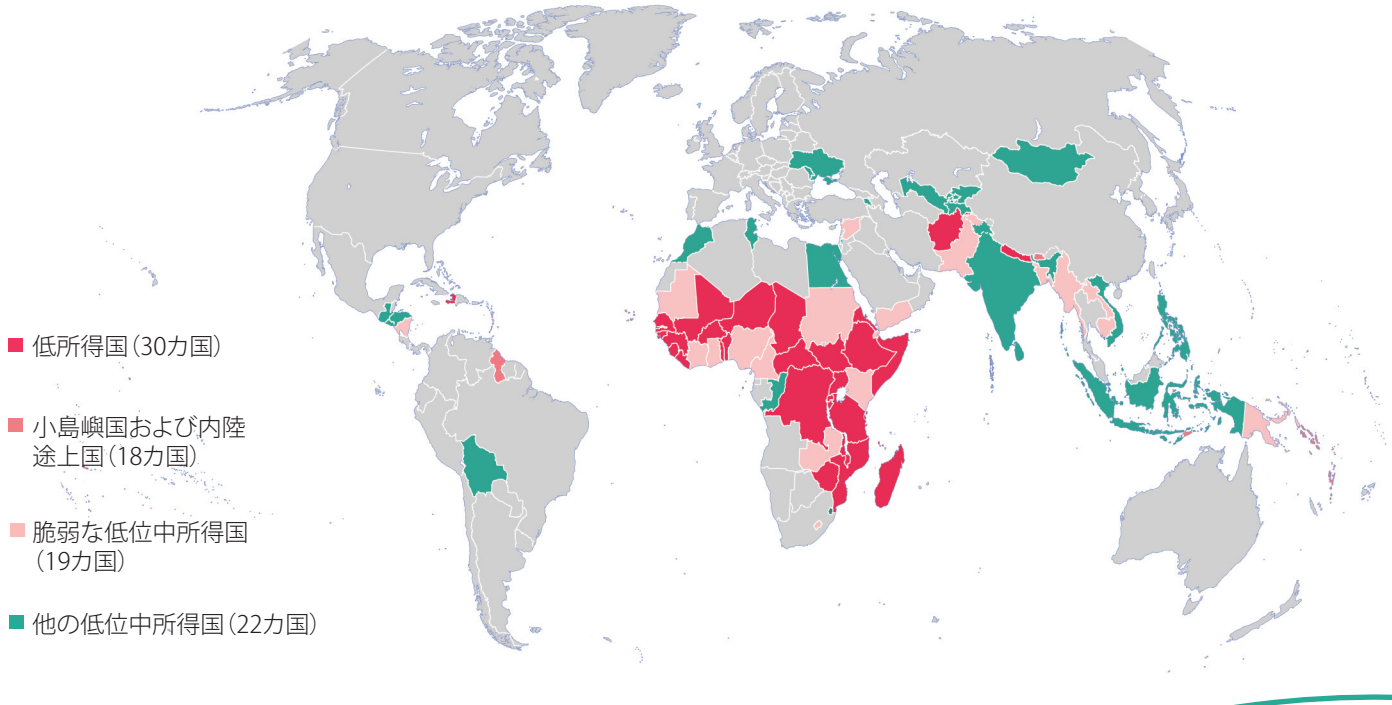
この枠組みは、贈与資金の管理というGPEの強みを礎に、それまで教育分野で利用されていなかった。官民資金の調達に向けた新規パートナーシップ構築の機会を切り開くものです。洗練された教育セクター支援プロジェクトを国レベルで策定するアプローチを用いることで、クラウドイン効果を高め、新たに調達した資金を各国の教育計画に盛り込まれた優先課題と適切に整合させることが可能になります。

この枠組みにより、支援を最も必要としている国やコミュニティにGPEの支援を適切に向けることができます。資金の配分は、各国の初等・中等教育の修了率と経済状況（1人当たり国内総生産）を基準に、特に脆弱・紛争国が重視されます。

- 低所得国および低位中所得国の89カ国は、各国の教育計画の分析と強化のための贈与を受けることができます。
- このうち67カ国は、各自の教育計画の実施を目的とする金額の大きい贈与を申請することが可能です。

GPEの支援対象国

これらの国には、世界の未就学の子どもと若者の78%にあたる約8億7000万人が暮らしています。



GPEが達成した成果

GPEの支援は、途上国で以下のような成果を達成しました。

- 2014年の小学校就学児童の増加数（2002年と比較）：6400万人
- 2014年の小学校の修了率：73%。2002年は63%
- 2014年の女子の小学校修了率：71%。2002年は56%
- 2014年の中学校の修了率：50%。2002年は38%（女子は36%から47%に向上）

エチオピア

授業と学習の質への取組み

エチオピアは、2004年にGPEに参画して以来、同国の一般教育質向上プログラム（GEQIP）を支援するため、計4件（総額3億3700万ドル）の贈与を受けました。このプログラムは、全国4万カ所の小中学校の授業・学習状況を改善し、教育システムの能力強化を図るために全国的な改革を推進するものです。

GPEの贈与により、小学校の教員10万人以上、そして中学校の教員1万7000人が、1年間の修了証書から3年間の認定証書へと資格の向上を図っています。また2006～2013年にかけ、資格を持つ正規教員の割合は、1～4学年では3%から44%に、また5～8学年では53%から92%に改善しました。

GPEの贈与は、2013年までに生徒全員に教科書を配布するという同国政府の意欲的な目標の達成を助け、主要科目の教科書1億4600万冊を小学校と中学校の生徒に配布しました。GEQIPプログラムはまた、教科書の内容の質に関する基準を設定し、新たに220種類の教科書を開発したほか、母語で授業を進めれば学習の成果が大きく向上するという考えに基づき教科書と教員指導書を7つの言語で制作しました。



© GPE/Midastouch

GLOBAL PARTNERSHIP *for* EDUCATION
REPLENISHMENT 2020

事務所所在地:
1850 K Street N.W. - Washington D.C. 20006 - USA

郵送先:
Global Partnership for Education
MSN IS6-600
1818 H Street N.W. - Washington D.C. 20433 - USA

2017年5月

お問い合わせ・連絡先:
replenishment.globalpartnership.org

#FundEducation

facebook.com/globalpartnership
twitter.com/gpforeducation
instagram.com/gpforeducation
youtube.com/gpforeducation

www.globalpartnership.org